

第6期 事業報告書

令和4年10月1日から令和5年9月30日まで

NPO 法人あったかいいねっと

・理事会の開催

第6期第1回理事会

開催日時 令和4年12月4日17時30分～

議 題 1. 第5期事業報告及び予算決算の承認について
2. 第6期事業計画及び予算(案)の承認について
3. 役員の改選について

第6期第2回理事会

開催日時 令和4年12月4日19時05分～

議 題 理事長の互選について

第6期第3回理事会

開催日時 令和5年1月28日18時00分～

議 題 1. 支援ハウスの活用に向けて
2. デイの定員について
3. 相談支援事業所の立ち上げについて

・第6回通常総会の開催

開催日時 令和4年12月4日(日) 17:30～

出席者数 8名(出席正会員 6名、委任状出席 2名)

議 題 1. 第5期事業報告及び予算決算の承認について
2. 第6期事業計画及び予算(案)の承認について
3. 役員の改選について

令和5年5月、新型コロナウイルス感染症の分類が2類から5類へ見直されたことに合わせ、とき時カフェのオープン、相談支援事業所の開設、サロン活動の拡大実施、特例認定NPOの資格取得など法人の組織体制の拡大強化を行いました。

デイサービスの経営については、利用者様個々の状態悪化や入所による利用回数の減少、新型コロナウイルス感染症蔓延に伴うデイサービスの臨時休業により収益が下がりました。さらに社会情勢の変化に伴う物価高騰により、固定費が増大し厳しい経営状況となりました。

第6期に掲げた人材育成事業については、職員の個別研修やサロン活動として地域に開いたセミナー等を企画し実施しました。

法人活動で力を入れたのは、法人の認知度を上げることで、ホームページ・インスタグラム・フェイスブック等を適宜更新すると共に、積極的なPR活動として、ゆうひパーク三隅でのバザーや浜田市健康福祉フェスティバルに参加し、第6期に事業化した、あったか工房の作品やあったかファームの野菜を販売することに併せて、法人紹介のリーフレットを配布しました。

この他全国規模の研修会に参加し、共生社会についての時間を共有できる機会にも恵まれ、このご縁が工房の作品やファームの野菜の販売へ繋がったり、寄付をいただくなど、複数の個人や団体から応援をいただくことが出来ました。

1. 事業の成果

【1. 地域共生社会の実現に向けた事業】

①共生型デイサービス事業について（5年目）

利用者様は、令和5年9月末現在35名で、年齢は19歳から98歳と幅広くなっています。

利用者様の日々の様子は平穏で、個々への支援は充実したものを提供出来ました。今期は機能訓練を充実したことで、高齢者様のADL維持ができました。

障がいをお持ちの新規利用者様（10代）は、共生型ならではの環境の中で、様々な年代と背景を持つ方々と日々関わり、多くの学びが得られ、約半年で多動等の行動も落ち着きました。共生型デイサービスが居場所として定着し、現在は笑顔も多くみられ作業活動に参加できるようになっています。ご家族様にも喜ばれ、職員にとっても共に育ちあう良い経験が出来ました。

年間計画で予定していた「介護家族の集い」は、施設内でのコロナ感染の影響で実施出来ませんでした。

今期の経営上の特徴として、介護保険対象の利用者様の加齢に伴い重症化が進み、地域での生活が困難となり入所されたり、亡くなら

れるケースが多数発生しました。

特に、令和5年春から夏にかけて介護保険対象の利用者様が一時期減少しました。一方、障がいでの利用者様はやや増加しました。8月には新型コロナウイルス感染症に利用者様や職員が感染し、蔓延防止と人員体制が不十分のため臨時休業を余儀なくされました。さらに、物価上昇に伴い固定費等の支出も増大しました。

デイサービス全体としては、利用状況・経営状況・職員の人材育成面等で努力を要する一年となりました。

しかし、共生型ならではの課題が明らかとなり、次年度から改善に取り組めることは、今後より質の高い共生型デイサービスを作っていく意味で重要な一年となりました。

○年間の利用者数については下記表参照。

延べ年間利用者数	5期	6期	増減
介護保険対象者数	2,787	2,856	69
障がい者対象者数	828	937	109
障がい児対象者数	191	0	-191
合計	3,806	3,793	-13

② 相談支援事業について

令和5年5月に相談支援事業所「雨のち晴れ」を立ち上げました。現在は、利用者の拡大を図るため積極的に地域の協議会等へ出席し知見を広げると共に、相談支援員の質の向上のため各種研修会等へ参加しています。

現在利用者様は3名で、丁寧な関りで信頼を得ています。

【2. 安心して過ごせる居場所づくり事業】

① とき時カフェ（第6期における試行事業）

地域食堂（子ども食堂の構想に対象者を生きづらさを抱える方、生活困窮者や地域の中の孤食者及びデイサービス利用者の昼食サービスを対象）として「とき時カフェ」を令和5年5月保健所の営業許可を取りオープンいたしました。

デイサービスの調理の利便性も上がり、これまで以上に利用者様に喜んでいただける昼食が提供できています。

貧困者、孤食者などの利用については平素のカフェ運用に慣れるまで、実施を見送っています。

また、当初予定していた、食堂利用者に「もの作り」をしてもらい販売収益に繋げて、収益を地域食堂の資金や食事券に還元していく予定としていましたが、今期はそこまで至りませんでした。

② フリースペースの貸出しについては、数件の利用がありました。

地域の中で生きづらさを抱える方のフォローや共生社会に関する活動を行っている団体や個人などが利用され、フリースペースの目的を達成しました。

【3. 自然（命の循環）を感じる活動に関する事業】

・ファーム（第6期における試行事業）

利用者様などと一緒に苗を植え付け、栽培し、そして収穫した野菜が販売に繋がりました。

自然の中で野菜の苗が成長し、やがて実を付けそして収穫にいたる一連の栽培をとおして、利用者様にとっても生命の循環を感じられる体験、そして笑顔と出会える場となりました。

野菜の販売活動は、積極的にイベント（ゆうひパーク三隅や福祉フェスティバルなど）に参加し、法人のPRと共に販売に努めました。また、法人のホームページやインスタグラム等にも販売コーナーを設け、年間売り上げも当初目標を上回りました。

【4. 育ちあう、広げる活動に関する事業】

① 共生型交流サロンについて

ア イベント

支援ハウスの活動を継続し、地域に開いたサロン活動を再開し「木工キーホルダー作り（ワークショップ）」や「心のセミナー」など実施することが出来ました。

イ 定例会

定期的な開催には至りませんでした。新型コロナウイルス感染症の5類移行後、久しぶりにサロン活動を実施でき、集った参加者の皆様

の喜ばれる姿から、人が人と関わるあたたかい場は何ものにも代えがたい大切なもので、地域の生きづらさを抱える方々にとって支援ハウスは必要な場であることを再確認しました。

また、ボランティアはホームページやチラシに載せるなどの方法で募集を行い、共生型デイサービスの体験ボランティアとして受け入れ、環境整備のボランティアには施設周辺の草刈りをしていただきました。

今後も、ボランティアを受け入れながら、地域との交流を図っていきます。

② 人材育成事業

当時から力を入れてきた人材育成事業はコロナ禍で低迷しましたが、共生社会を担う人材を育てるため、専門職（共生型デイサービスでの職員研修等）や学生の共生型ボランティア体験を受け入れました。勉強会として「心のセミナー」を開催しました。

【5. その他目的を達成するために必要な事業】

① 工房（第6期における試行事業）

手作業が得意な利用者様と共に木工工作活動を行い、販売可能な物作りをしたことで、あったかポイント（施設独自）が得られ、作業者にとって大きな喜びとなり就労意欲が出たことは大きな収穫でした。

また、工作を行うことで、身体的機能訓練になるほか、集中力の醸成や創意工夫などの副次的効果があがりました。

② 目の前の笑顔のために

今期は、必要とされる事案はありませんでした。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施予定の日時 場所、従事者の 予定人数	受益対象者の 範囲 及び予定人数	事業費の 予算額 (単位：千円)
【1. 地域共生社会の実現に向けた事業】				
共生型デイサービス 「お天気いいね」	介護保険、障害福祉サービス事業のデイサービス	月～土 9：00～16：00	要支援 1・2 要介護 1～5 区分2～6 定員1日 15、18名	収益： 41,376 費用： 39,463
相談支援事業所 「雨のち晴れ」	障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むための相談支援	月～金 9：00～16：00 随時	障害(児)者やその家族 (9/1現在登録者3名)	収益： 46 費用： 870
【2. 安心して過ごせる場所づくり事業】				
とき時 カフェ	・デイサービスの昼食提供 ・地域食堂(お子様、孤食者、貧困者等)	デイサービス営業時間 (予約制) 調理員他2名	・デイサービス利用者及び見学者	収益：10 費用：626 (内設備費294)
フリースペース	フリースペースの貸出	支援ハウス 和室・2階	デイ利用者・生活困窮者・孤食の人・子ども・地域の人	収益：0 費用：0
【3. 自然(命の循環)を感じる活動に関する事業】				
あったか ファーム	畑作業、収穫、調理、販売など	畑 随時 浜田市熱田町119 2-2 スタッフ2名	生きづらさを抱えている人	収益：80 費用： 37

【4. 育ちあう、ひろげる活動に関する事業】				
共生型交流サ ロン	・ 定例会 ・ イベント	・ 支援ハウス ・ あったかファーム	・ 地域の方々 ・ 生きづらさを抱えている人	収益： 7 費用： 83
人材育成	共生型人材育成	随時、体験ボランティアとして受け入れ	地域共生社会に興味のある方	収益： 0 費用： 0
【5. その他目的を達成するために必要な事業】				
あったか工房	「もの作り」で就労に向けた手作業の体験。 製品として販売し作成者に還元	適宜	・ 生きづらさを抱えている人 ・ 利用者	収益： 156 費用： 31
目の前の笑顔のために	地域共生社会を実現するためにまだ地域にないサービス、支援活動	随時 必要な場所	生きづらさを抱えている人	収益： 0 費用： 0
法人活動 ※助成金、寄付金などについては記載なし				収益： 41,675 費用： 41,110

※詳細については第6期決算報告書参照

3 その他事業
実施なし